

ホームページのご紹介

トップページ

<http://www.uchiyama-gr.jp/index.html>



IR情報

<http://www.uchiyama-gr.jp/ir/index.html>



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
上場取引所	大阪証券取引所ジャスダック市場
公告方法	当社HP(http://www.uchiyama-gr.jp)での 電子公告により行う。ただし、やむを得ない 事由により電子公告によることができない場 合は、日本経済新聞に掲載して行う。

- (注) 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒802-0044
北九州市小倉北区熊本2丁目10番10号
内山第20ビル1F
TEL : 093-551-0002 (代表)
お問い合わせアドレス : <http://www.uchiyama-gr.jp/cgi/form/form.cgi>



株主・投資家の皆様へ

UCHIYAMA REPORT

| ウチャマ通信 | 第7期 2012年4月1日から
2013年3月31日まで





代表取締役社長
内山 文治

全国展開を目指した 事業拡大が順調に進んでおります。 今後も、ウチヤマグループならではの 理念実践型の経営を 推し進めてまいります。

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。
当社は、2012年4月の株式上場後の初年度となった2013年3月期の決算も
お陰様で無事に終えることができました。
今後も皆様のご期待にお応えすべく、全社一丸となって企業価値の最大化に取り
組んでまいりますので、引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

積極的な事業拡大投資により当期は増収減益となり ましたが、計画通り順調な全国化が進んでおります。

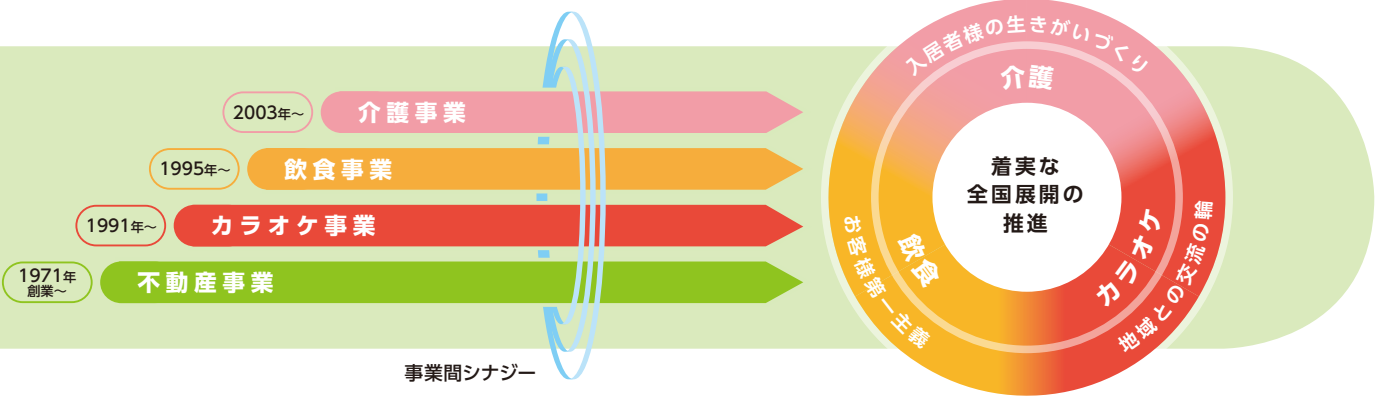
当期の連結業績は、前期比11.1%の増収、同3.5%の営業減益と
なっておりますが、この減益要因は、介護事業において積極的な開
設や大型化を推進したことで初期投資が増加したためであり、当社
グループの高収益構造は確保しております。収益の2本柱となっ
ております介護事業・カラオケ事業ともに、現在、全国各地を対象とし
て積極的な施設・店舗の拡大を推し進めており、介護施設7ヵ所、カ
ラオケ店舗5店舗を新たに立ち上げることができました。
当社グループの成長戦略は、介護事業を「成長の原動力」、カラオ

ケ事業と飲食事業を「安定収益力」という位置づけのもと、本拠地
である九州において確固としたドミナントを確立しながら、これと並
行して全国への事業拡大を図っておりますが、この「全国化」の取り
組みは、他社とは根本的に異なる、当社ならではの思想や哲学に基
づいて進められております。当社グループは、「慈愛の心」、「尊厳を
守る」、「お客様第一主義」の3つを経営理念とし、理念実践型の経
営に徹しております。進出エリアにおいては常に「地産・地消・地役」
を追求し、地元のお客様にご満足いただけるサービス、地域の雇用
機会の創出、地域のコミュニティとの交流などを大切にしながら、
真に地域に根差した展開を全国に広げていくことを目指しており
ます。

介護事業は、理念実践型の施設運営が全国自治体から の安心と信頼を獲得し、実績が積み上がっております。

当社グループは、微力ながらも、今後の超高齢社会を支える一翼
を担っていかなければならない、それが使命であると考えておりま
す。そのため、最も多くの経営資源を介護事業に傾斜配分しながら、
施設の全国展開や人材の育成に積極的に取り組んでまいります。
介護施設の展開において当社グループが最も重視しているの
は、入居者様やご家族様の満足度を最大限に高めることです。例え
ば、当社グループでは入居一時金を一切いただかないシステムとし
ております。入居後は、満足度の高いホスピタリティを提供するため

に、「人間力」の向上を基本とした人材育成を軸に年間500時間程に
及ぶ研修や勉強会を行っております。介護施設はホールなどの共用
スペースを広めにとって様々なイベントを企画・運営することで、入
居者様同士や地元の方々との交流・触れ合いの機会を最大限に持
ち、また、運営面でも常に入居者様を主体と考えた様々な工夫を凝
らすなど、入居者様の“生きがいづくり”を大切にしております。
このように、当社はいわば、理念実践型の施設運営に徹しておりま
すが、この姿勢が、全国の自治体から“安心と信頼”を獲得し、これが
全国各地で開設実績が急増してきている最大の要因であると自負
しております。2014年3月期においても9ヵ所の介護施設開設を計
画しており、今後も順調な拡大を見込んでおります。



業界随一の高収益性を実現しているカラオケ事業は、 首都圏での新たな展開が見えつつあります。

当社グループのカラオケ事業は、業界随一の高収益性を実現し
ており、当期のセグメント利益率は19.1%という高水準にありま
す。これは、当社グループ独自のユニークなおペレーション展開に
よって、子供から高齢者まで幅広い顧客層の取り込みに成功して
いるからです。例えば、食事メニューは、味や品揃えにこだわり、定
期的な進化を図っており、同業他社との大きな差別化ポイントの一
つになっております。また、近年では新たに「シニア層」の取り込み
にも力を入れております。割引サービスの実施に加え、当期は65歳以

上の方へのプレミアム特典付きの「さわやかゴールドメンバーカード」
の発行、午前6時～12時の最大6時間カラオケ歌い放題の朝食セット
「さわやかモーニングパック」(690円)の提供なども開始しました。
こうした取り組みの成果として、当期末現在、一般会員648,547
名、ゴールドメンバー会員17,211名と、固定客が確実に収益を押し
上げる構造が定着してまいりました。
今後も、年間8～10店舗程度のペースで新規出店を行い、各地で
のドミナント化による地域一番店戦略を推し進めてまいります。特
に、大商圏である東京都心では、本年3月にオープンした「新橋店」が
当初見込みを大きく上回る業績で推移しており、既に5店舗目の出
店も確定するなど、首都圏攻勢の積極化を図ってまいります。

介護事業・カラオケ事業ともに順調に拡大

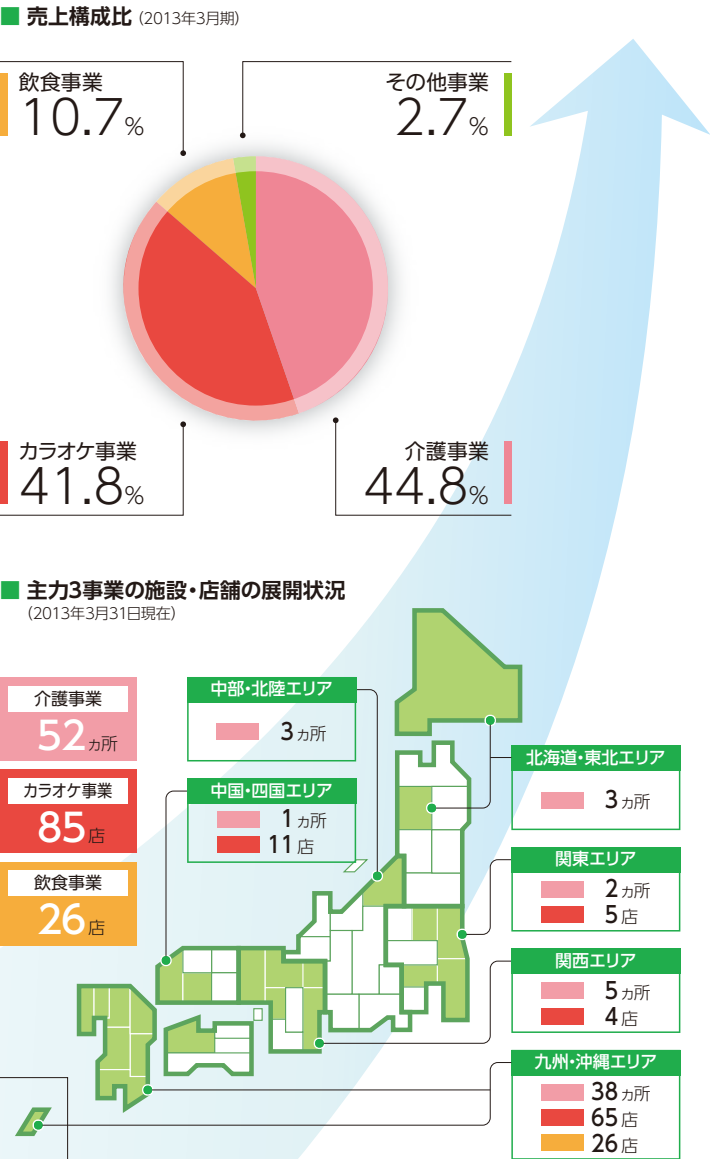
当期は、介護事業、カラオケ事業が共に増収となったことを受け、連結売上高は前期比11.1%増の199億68百万円となりました。

売上構成比では、介護事業44.8%、カラオケ事業41.8%となり、この2事業で売上をほぼ2分しております。飲食事業は、現在、九州を中心に多業態展開をしながら、将来の多店舗化を見据えたトライアル段階にあり、売上構成比は10.7%の状況にあります。

なお、連結営業利益は前期比3.5%減の19億38百万円となっておりますが、この営業減益は、介護事業の積極的な展開（新規開設や施設の大型化など）による初期投資の増加が主な要因で、将来の基盤拡大のための先行投資によるものであります。

次期2014年3月期の連結業績は、売上高227億56百万円（当期比14.0%増）、営業利益24億11百万円（同24.4%増）を予想しております。

2013年3月期の連結業績



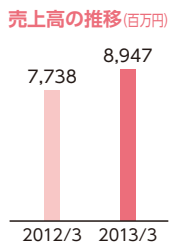
Nursing Care

介護事業



全国への拠点拡大に加え、各施設で地域と連携した運営を推し進め、安定した施設運営に努めました。

当期は、介護付有料老人ホーム5カ所、住宅型有料老人ホーム2カ所を開設（加えて、ショートステイ5事業所、デイサービスセンター2事業所、ヘルパーステーション2事業所を開設）しました。また、既存施設では、安定した入居率維持のため、近隣の病院や居宅介護支援事業所への訪問による連携を強化しました。これらの結果、介護事業の売上高は前期比15.6%増の89億47百万円となりました。



Topics

4県に初進出・リハビリ特化型を強化

当期開設した7カ所の施設のうち4カ所が初進出エリア（三重県・千葉県・栃木県・愛媛県）での開設となっており、全国への拡大が着実に進んでおります。2013年3月に開設した住宅型有料老人ホーム「さわやか 清田館」（福岡県）では、リハビリ特化型のデイサービスセンターを開設し、高齢者の方々の健康維持や機能回復に力を入れるなど、各地で新しい試みも積極的に行われております。



介護付有料老人ホーム「さわやか新居浜館」（愛媛）



介護付有料老人ホーム「さわやか清田館」（福岡）リハビリ風景

Karaoke

カラオケ事業



売上高

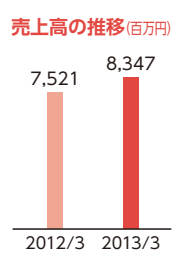
8,347 百万円
(前期比11.0%増)

セグメント利益

1,597 百万円
(前期比29.2%増)

新規出店に加え、シニア層向けの特典付き会員カードを発行するなど、新たな需要の開拓や客単価アップに努めました。

当期は、全国で5店舗を新規出店しました。また、既存店舗では、シニア層（65歳以上）を対象とした特典付き会員カード「さわやかゴールドメンバーカード」を発行し、新たな需要の開拓に努めるとともに、飲食メニューの充実や会員様向けサービスの強化など、集客及び客単価アップに努めました。これらの結果、カラオケ事業の売上高は前期比11.0%増の83億47百万円となりました。



Topics

東京都で4店舗目の出店に加え、兵庫県・茨城県にも初進出。

当期出店した5店舗のうち2店舗が初進出エリア（兵庫県・茨城県）での出店となっており、また、東京都で4店舗目となる「コロケ倶楽部 新橋店」を本年3月にオープンするなど、カラオケ事業も全国化が着実に進んでいます。



「コロケ倶楽部 新橋店」(東京)



「コロケ倶楽部 霧ヶ丘店」(福岡)

Food Service

飲食事業



売上高

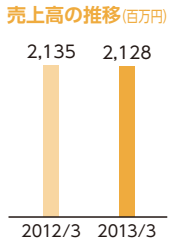
2,128 百万円 (前期比0.3%減)

セグメント利益

258 百万円 (前期比10.9%増)

既存店活性化のための各種施策を実行しました。

当期は、業態変更1店舗、リニューアル1店舗を行いました。タイムサービスによる利用促進、宴会需要の取り込み、繁忙期の安定した接客サービス提供のための従業員教育の強化などに努めました。これらの結果、飲食事業の売上高は前期比0.3%減の21億28百万円となりました。



Other

その他



売上高

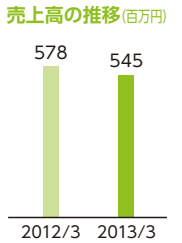
545 百万円 (前期比5.7%減)

セグメント利益

50 百万円 (前期比26.9%減)

不動産・ホテル事業の活性化に注力しました。

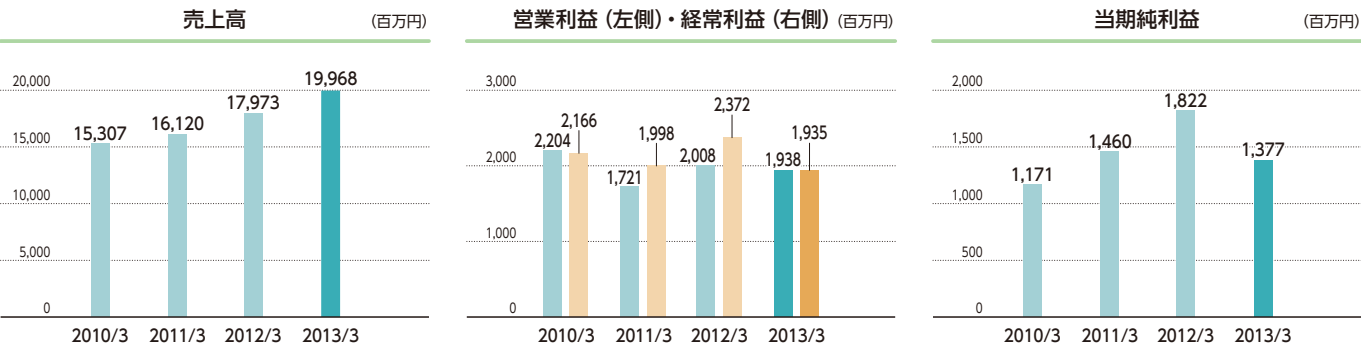
ホテル事業においては、宿泊客の増加、宴会の獲得、日帰り入浴の促進等に取り組みました。不動産事業においては、物件売買及び賃貸の仲介業務等を中心に行っております。これらの結果、その他の売上高は前期比5.7%減の5億45百万円となりました。



Consolidated Financial Highlights

2013年3月期 連結決算のご報告

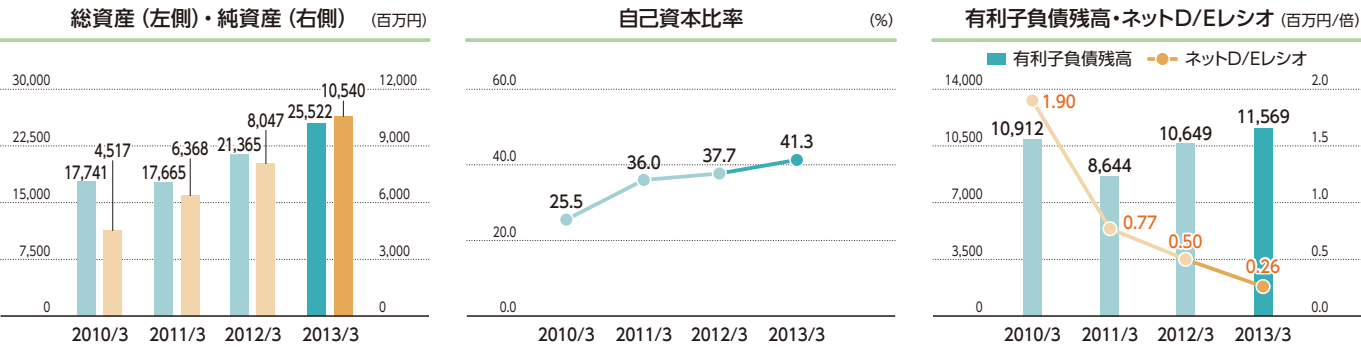
収 益 の 状 況



昨年12月に発足した新政権の経済政策への期待感から一部で景気回復への兆しが見られましたが、通年では依然、先行不透明な状況で推移しました。こうした環境下、当社グループは各事業において積極的な営業活動を展開するとともに、経費の見直しなどによるコスト削減を進め経営の効率化を図りました。また、

介護事業と飲食事業、カラオケ事業と飲食事業などの間で、事業間シナジーを高める取り組みにも注力しました。この結果、当期の連結業績は、売上高199億68百万円(前期比11.1%増)、営業利益19億38百万円(同3.5%減)、経常利益19億35百万円(同18.4%減)、当期純利益13億77百万円(同24.4%減)となりました。

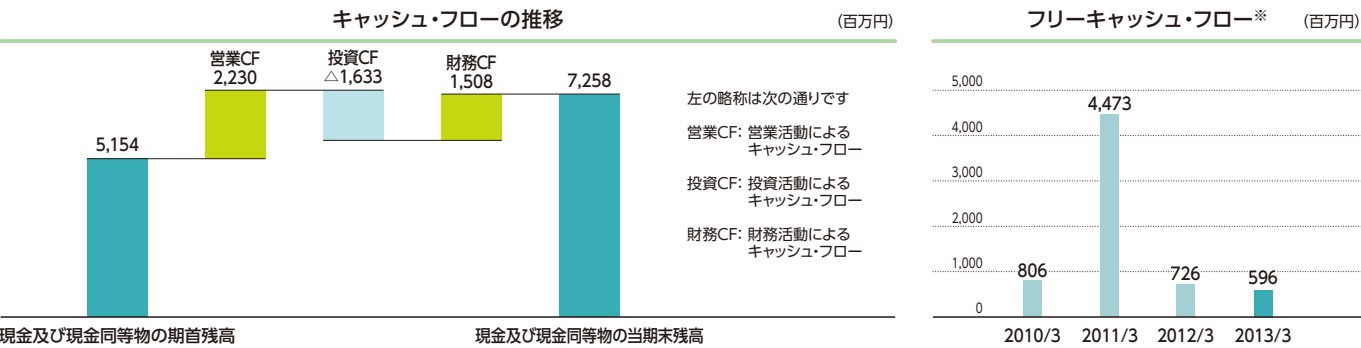
財 務 状 態



総資産は、現金及び預金や売掛金の増加、新規の施設及び店舗の開設に伴う建物及び構築物、土地、敷金及び保証金などの増加により、前期末比41億57百万円増の255億22百万円となりました。純資産は、株式上場に伴う資本金及び資本剰余金の増加、当期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより

同24億93百万円増の105億40百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は同3.6ポイント向上し41.3%となりました。なお、有利子負債残高は、同9億20百万円増の115億69百万円、ネットD/Eレシオは前期末比0.24ポイント改善し0.26倍となりました。

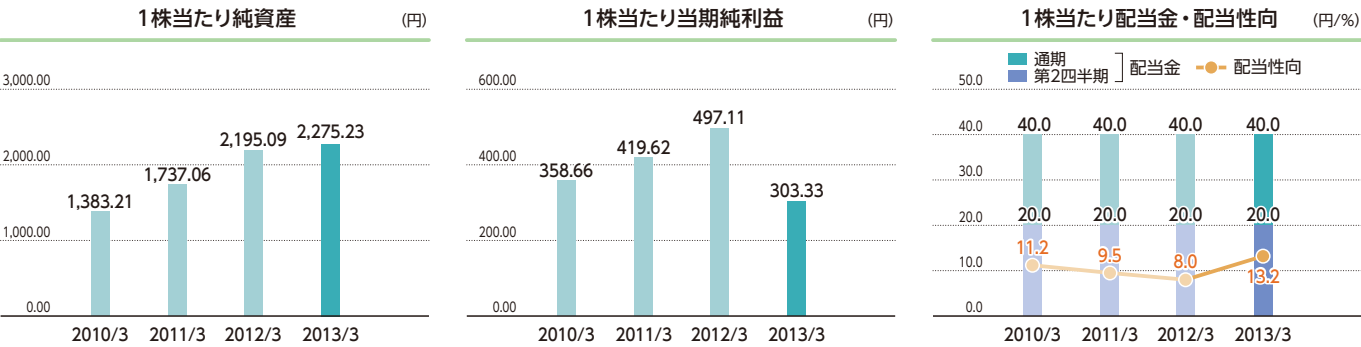
キャッシュ・フローの状況



税金等調整前当期純利益や減価償却費の計上などにより営業CFが22億30百万円の収入、有形固定資産の取得(新規の施設・店舗)や定期預金の預入などにより投資CFが16億33百万円の支出、借入金や割賦債務の返済や配当金の支払の一方で長期借入れ、株式発行などによる収入があり財務CFが15億8百万円の収入となりました。この結果、当期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ21億4百万円増の72億58百万円となりました。

※フリーキャッシュ・フロー＝営業CF＋投資CF

1株当たり指標と株主の皆様への利益還元方針



当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけ、安定配当の継続に努めております。当社は、2011年12月7日に1:5の株式分割を行っており、遡及修正後の金額で比較しますと、当期末の配当金は、前年同期の実績と同様の1株当たり20円にて実施させていただきました。これにより、当

第2四半期の配当金20円を合わせて年間配当金40円となりました(前期実績と同様)。
次期(2014年3月期)の配当金は、当期と同様に、年間配当40円(第2四半期20円、期末20円)を計画しております。

(注) 2010/3、2011/3は、すべて2011年12月7日付けの株式分割(1:5)に伴う遡及修正値。

株主優待制度

当社は株式上場を機に、株主優待制度を導入いたしました。株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、長期的に当社株式を保有していただくこと、さらには当社グループへのご理解をより深めていただきたく、ホテル、カラオケ店、居酒屋でご利用できる優待券を贈呈させていただきます。
(ご利用店舗やホテルの所在地につきましては、裏面記載の弊社ホームページにてご確認ください)

株主アンケートのご報告

株式上場後初めての発行となりました第7期第2四半期「ウチヤマ通信」(2012年12月発行)において実施させていただきました「株主アンケート」の集計結果の一部をご紹介します。

ご協力いただきました株主の皆様に感謝申し上げますとともに、今後も引き続き株主の皆様のお声を定期的にいただきながら、IR活動の充実を図ってまいります。

ご優待内容

ご所有株式100株以上で
優待券 **5,000円分**
1,000円×5枚

(株)さわやか倶楽部運営の「ホテルさわやかハートピア明礬」、「ホテルさわやか別府の里」ならびに(株)ボナー運営のカラオケ店舗及び居酒屋店舗で利用可

実施時期

2013年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上を保有されている株主様を対象に実施。

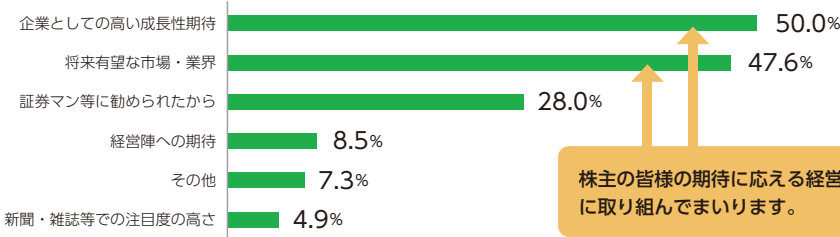
ホテル宿泊
1回利用
1人当たり
1,000円×5枚
まで

カラオケ店舗及び
居酒屋店舗1回利用
1組当たり
1,000円×2枚
まで使用可



株主ご優待券

当社株式の保有理由(複数回答可)



株主の皆様の期待に応える経営に取り組んでまいります。

株主の皆様のお声(一部抜粋掲載)

- 安定的な業績拡大で株価の上昇につなげてほしい。
- 早期に東証一部を目指してもらいたい。
- 株主優待制度を、全国の株主が平均的に利用しやすい制度にしてほしい。
- 介護が身近に感じる年齢の身として、是非とも介護事業の全国化を推し進めてもらいたい。
- 東京を中心とした関東にもカラオケ店や飲食店を出店してほしい。
* その他、全国の未進出エリアの株主様からの進出希望のお声を多数いただきました。
- 海外を含めて積極的に事業を拡大してほしい。

株式の状況

発行可能株式総数	14,600,000株
発行済株式総数	4,632,700株
株主数	1,808名

株式分布状況



大株主

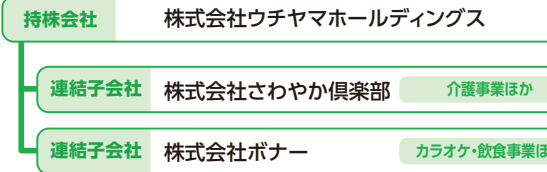
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
内山文治	2,302,505	49.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	282,700	6.10
内山孝子	216,480	4.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	201,800	4.36
ウチヤマホールディングス従業員持株会	134,800	2.91
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	100,000	2.16
株式会社エグシング	76,200	1.64
株式会社第一興商	70,000	1.51
大阪証券金融株式会社	64,300	1.39
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	53,900	1.16

(注)持株比率は、自己株式(35株)を控除して計算しております。

会社概要

商号	株式会社ウチヤマホールディングス
設立	2006(平成18)年10月2日
代表者	代表取締役社長 内山 文治
資本金	13億6,051万円
従業員数	連結 3,593名
事業内容	持株会社としてグループ会社の経営管理 グループ全体の経営戦略の立案
連結子会社	● 株式会社さわやか倶楽部 ● 株式会社ボナー
上場取引所	大阪証券取引所 ジャスダック市場
(証券コード)	(6059)

グループ経営体制



役員(2013年6月27日現在)

代表取締役社長	内山 文治	監査役	富山 誠
専務取締役	生嶋 伸一	社外監査役	矢田 逸夫
専務取締役	竹村 義明	社外監査役	住川 守
専務取締役	歌野 繁美	社外監査役	岸本 進一郎
専務取締役	山本 武博		
取締役	吉岡 信之		
取締役	川村 謙二		
取締役	二村 浩司		